

## 県立学校業務カイゼンの主な取組一覧(重点項目関連)(令和元年度)

学校名	業務削減項目	部活動の現状と課題
鳥取東	1学期中間考査の中止 学校閉庁日の設定 各種委員会の出席者の見直し	部活動休養日・活動時間についての本校の方針を概ね遵守して部活動に取り組んでいる。 毎月、部活動計画及び活動実績を提出してもらい、管理職で確認をしている。
鳥取西	各種会議の内容を精選し、会議の回数の削減に取り組む	本校の「部活動に係る方針」に従い、年間活動計画、月ごとの部活動計画表を作成し、適切な活動時間の遵守に努めている。また、週末いずれかを含む週一日以上の休養日を設け、成長過程にある生徒が運動と休養のバランスがとれた学校生活が送れるよう努めている。 問題として、土日に大会等があった場合部活動指導に当たる顧問の時間外業務量がどうしても増えてしまう傾向にある。
鳥取商業	働き方改革に合わせ、職員の拘束時間が多く、優先順位の低い行事を削減する。 情報伝達手段を検討し、有効活用することで会議の効率化・削減を図る。	①学校教育における部活動の意義、部活動が学校の特色・PRポイントになっている事及び地域連携(県等からの週休日における活動協力依頼)にも絡んでおり、なかなか削減できない現状である。 ②保護者の部活動に対する期待も高く、熱心な活動を期待されている。 ③教員の部活動に関する認識に大きな差があり、積極的に関わっている割にはストレスが少ない教員が多い。 ④働き方改革及び生徒の健康・精神面を考慮した休養日・活動時間の設定であるが、生徒・保護者・教職員の認識に大きな差があり調整が難しい。そもそも、休養日・活動時間の設定について科学的根拠に基づく説明が出来ず、感情論になっている。
鳥取工業	PTA総会、科別PTAの整理・統合についてPTAと学校で検討	練習試合等を計画する場合、終日での実施になることがある。 また、各競技団体組織で休養日・活動時間の設定・遵守等に取り組まなければ、勝利をめざして活動する以上、表面上の時間は守れても実際の活動時間については守られるのか不安がある。文部科学省と各種競技団体とで双方が合意できる現実的な方針を提示していただきたい。
鳥取湖陵	学校行事「令和2年度の7月学校祭(青陵祭)と11月湖陵フェスタ」について、見直し・精選・統合を検討する。 お盆期間は事務室窓口を閉鎖することにより、窓口業務の負担を軽減する。	休日の休養日について、現状は、4月～高校総体までは遵守できない部活動が少なくなかった。 平日の休養日についてはおおむね遵守できている。  課題として、月間計画表・実績表の提出が、新たな業務負担となっている。
鳥取緑風	・不要業務の洗い出しと削減 ・入試業務の見直し(本校は入試回数が多いため)	本校は夜間定時制の授業があることから、授業日の活動は原則として午後4時20分から午後5時30分までとしており、部活動を事由とする時間外勤務はほとんどない。 学校の休業日は4時間程度の活動としているが、通信制日曜スクーリング実施日は、定時制の活動は原則実施しないこととしている。

## 県立学校業務カイゼンの主な取組一覧(重点項目関連)(令和元年度)

学校名	業務削減項目	部活動の現状と課題
青谷	行事の見直しで、類似する内容の複数の講演会を1つに集約して実施した。	すべての部活動が週1日以上休養日を設けている。 土曜日・日曜日の対外試合等の場合は、その週の休養日を平日に割り振っている。
岩美	委員会の見直しを行い、会議の精選を図る。	会議等で機会を見つけて、遵守を呼びかけ徹底するように働きかけている。 競技結果を出しながら、どこまで活動時間の短縮ができるかが課題。
八頭	生徒を対象とした講演会等の精選を検討している。	原則土日のうち一日を部活動休養日とするよう、部顧問への意識づけを強化している。
智頭農林	地域連携として行ってきた事業の中には、生徒数が減少してきたことで教職員の負担が大きくなっているものや、地域との連携が取れず、教職員の活動になっているものがある。「顔の見える地域連携」「先輩から後輩へ受け継がれる地域連携」「地域と学校・生徒がともに元気になる地域連携」という本校の目指す連携のかたちを重視し、この観点で優先順位をつけて削減をする。	本校の部活動に関する活動方針では、部活動休養日は原則週末のいずれかを含む週1日以上、活動時間は平日は原則2時間程度、学校休養日は原則4時間程度としている。生徒の8割以上が列車通学であり、帰宅時に利用する列車時刻が6時台前半と早いこともあり、休養日及び活動時間も、ほぼ守られている。一部の運動部で、遠征による週休日の部活動時間の多いことがある。
倉吉東	グループ別探究活動の取り組みにより、従来の講演会を整理削減を行った。	部によっては活動終了時間が守られていない。 今年度は、部活動終了時間の厳守、下校時間の厳守を徹底するため、各部の顧問、生徒会担当者の見回りによる下校指導を行う。
倉吉西	チャレンジグループ活動の発表機会の変更。 西高祭最終日の日程の変更。	現状として、「年間活動計画」「月別活動計画」の提出率100%。 課題として本校の「部活動に係る方針」に忠実に基づき作成した「年間活動計画」「月別活動計画」のとおり活動しても月の時間外勤務が45時間を超える可能性がある。
倉吉農業	勤怠管理システムの入力及び月締めの簡素化・迅速化 会議や打合せ等、口頭の指示伝達に頼らない体制の構築(GS・掲示の利用)	実習及び経験を重視する本校で部活動による教育的効果は大きい。 活動時間や休養日等殆どの部活動で活動方針に沿って履行されている。 実習や当番及び寮活動との兼ね合いで部活動時間が制約を受ける現状は否めない。
倉吉総合産業	朝礼で、その日の行事を教務主任が読み上げていたが、読み上げずホワイトボードを見て確認することとした。そのことにより朝礼の時間短縮につながった。 朝礼の連絡について、連絡ボードに担当者の氏名のみを記載していたが、内容を箇条書きで記載するようにした。そのことにより短時間勤務者など遅れて出勤した教職員が概要を確認できるようにした。	年度当初職員会議で本校の方針について周知を図った。 毎月、活動計画の提出を義務付け、月初めには提出されている。 計画表には、原則、週末のいずれかを含む週1日以上休養日が設定されている。 週休日振替の対象となる出張には、振替を取得するよう指導している。
鳥取中央育英	入学者選抜の学力検査会場の部屋数を減らして1室にまとめることで、より厳正な実施と、余剰人員の他業務への振り分けを図る。	昨年度末に定めた部活動方針の徹底を図っているところであるが、昨年度中に設定済みの遠征や練習試合などがあり、土日の休養日が不足したり、土日の活動時間が長くなったりしている部活動がある。 また、部顧問のなかには依然として多くの時間＝量の確保することを競技力向上策の中心に据えている者もあり、生徒の主体性・自主性を引き出す手法の導入や意識改革が急務である。

## 県立学校業務カイゼンの主な取組一覧(重点項目関連)(令和元年度)

学校名	業務削減項目	部活動の現状と課題
米子東	11月をノー会議月間として、原則会議を開催しない。 熱中症対策もあり、体育祭を短縮バージョンで行う。種目を精選し、準備の負担を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動に係る方針」(以下「部活動方針」という。)を策定し平成31年4月1日より施行し、ホームページで公表している。</li> <li>・年度当初に職員会議や部活動顧問会議を開催し、教員間で部活動方針を共通理解している。</li> <li>・部活特勤を調査し、部活動方針に定められた指導時間を超えている教員を指導している。</li> <li>・PTA役員会やPTA総会で部活動方針を保護者に説明し、理解を求めている。</li> <li>・教員の負担軽減のため、部活動指導員・外部指導者を有効活用している。</li> </ul>
米子西	・学校祭の開催時期・場所・内容について検討する。	部活動休養日・活動時間の遵守を徹底しているが、大会前や遠征等の現実的諸課題により遵守できない部がある。
米子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自事業のスクラップアンドビルドを行い、特にスクラップを推進して事業の見直しを実施する。</li> <li>・毎月、定例の運営委員会を行わず、会議・研修の時間設定と時間短縮を行っている。</li> <li>・11月はノー会議月間とし、会議を計画しないようにしている。</li> </ul>	現状として、年間、月間活動計画を各部顧問が作成提出し、適切な休養日の設定及び時間外の時間数を教頭が確認している。 課題として、各部活動で適切な休養日を設定しているが、一人の顧問が別の部活動顧問を兼ねているため、現状は休養日として休むことは難しい。 複数顧問の部活動であっても、家庭の事情(介護・育児)等で、週休日に部活動を分担して担当することが困難な場合もある。
米子南	繁忙月放課後の会議削減	運動部活動については、4月5月に目標とする大きな大会があり、生徒・保護者・顧問の意気込みも強く、週末の部活動環境を変更しにくい部活動もあった。6月以降は「活動方針」に沿った活動となるよう指導していく。
米子工業	本年度、学校自己目標に設定し、検討中である。	毎月、事前に部活動計画の提出を依頼している。部活動指導時間が多い場合は、計画の見直しを依頼し、適正な時間となるよう促している。その結果、4月および5月の時間外業務時間は、前年度と比較して減少した。
米子白鳳	行事の削減は考えていないが、業務を長期的な視野でとらえ計画的に遂行する。	「部活動に係る方針」を守り日々活動を行っている。
境	PTA総会(5月実施)・PTA教育懇談会(10月実施)の見直し	現状として、特定の部活動顧問が時間外勤務100時間オーバーという現状あり 課題として、特定の部活動において特定の教員が負担過重にならないように指導体制の組織化、分担化を推進
境港総合技術	校内巡視における教員一人の役割を削減した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査中の休養日の設定はできているが、公式戦に近い部活動では、休養日明けの生徒の心身の順応ができず、怪我の心配がある。</li> <li>・部活動休養日・活動時間を設定しているが、月毎の計画が年度末までできていないため、部活動休養予定日及び部活動時間を超えて部活動を行った場合の実績簿での振替日が設定されていない場合がある。</li> </ul>

## 県立学校業務カイゼンの主な取組一覧(重点項目関連)(令和元年度)

学校名	業務削減項目	部活動の現状と課題
日野	各分掌の業務を一覧にし「見える化」をおこない、業務の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部活動において週1日以上部活動休養日を設定</li> <li>・バトミントン部に外部指導者、射撃部に部活動指導員を配置</li> <li>・特定の部活動において、練習及び競技の特性上、長時間の活動になる場合がある。</li> </ul>
鳥取盲	学校行事に係る業務内容の偏りを少しでも軽減する環境づくり。 多数の手を借りたいとき、手の空いている人に手伝ってほしい等の呼びかけを可視化し、環境づくりにつなげる。	部活動は、月に1回の実施のため、課題はない。
鳥取聾	<p>昨年度より各分掌や各学部で業務の見直しと削減を実施しているが、更に今年度、各分掌や各学部で業務の見直し・削減項目を2つ以上設定することを自己評価表に目標に掲げて取り組むこととした。また、夏季休業中に全職員で働き方改革(業務の見直し・削減)をテーマとして職員研修会を開催し、職員の意識を高めるとともに、その後の取り組みに生かすこととしている。(ひまわり分校)</p> <p>年度途中で学校行事をやめる事はできにくい。が、昨年通りではなく計画の段階で省力化できる方法の検討している。</p> <p>幼稚部で毎月行っていた保育懇談(個人)をなくし、日々の情報発信を工夫充実することで補う。児童生徒及び職員数も減っていることでの課題があり、来年度、再来年度も視野に入れた反省や改善方法を検討し提案するよう努めている。</p>	<p>平日には、1回の休養日を設けており、また、土日の部活動はどちらかを必ず休養日とすることとしている。(ひまわり分校)</p> <p>休日に大会があった場合、次週に部活動休養日を設定するなど、回数の調整をしている。</p>
鳥取養護	業務や会議、行事の洗い出し(実施に至るいきさつも含めた)を行い、学校の現状や児童生徒にとって必要かどうか吟味する。	部活動は行っていない。
白兔養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、白兔まつり等多数来校者のある行事のあり方を検討し、所要時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の部活動は高等部のみで4つの活動を設定しており、下校時の交通事情を踏まえて平日の放課後30分程度の実施。</li> <li>・職員の会議や研修等で指導者が不在の時や週休日には活動なし。</li> <li>・大会参加等で週休日に引率を行う際には勤務日扱いとし、週休日振替で対応。</li> <li>・卒業後の生涯スポーツや文化活動につなげていきたいが、障がい者スポーツの機会や個人で参加できる大会等が少なく、参加の有無を保護者の意向に委ねざるを得ない状況があるため、少数の加入にとどまっている。</li> </ul>
倉吉養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート会議を目標に終了時間を意識して進行したり事前に資料を配布し、説明を簡単にして短時間の会議を実施。</li> <li>・朝の会の連絡は各自確認し、口頭での連絡はせず、時間を生み出す。</li> <li>・提出物について、再度、削減できる記入事項がないかどうかを検討する予定。</li> <li>・学校行事の内容や実施時期を見直し、来年度、少しでもゆとりを持った実施ができるようにする予定。</li> <li>・5Sを合言葉に物品整理をし、使いたい物が効率よく使えるようにした</li> </ul>	本校は時間外の部活動は、ほとんど実施していないため課題はなし。

## 県立学校業務カイゼンの主な取組一覧(重点項目関連)(令和元年度)

学校名	業務削減項目	部活動の現状と課題
皆生養護	昨年度かなり削減したので今年度は特になし	部活動なし
米子養護	効率的な学校行事の運営をしていく。	勤務時間外の部活動は設定していない。
琴の浦高等特別支援	行事については、開校時から学校教育目標を達成するために必要最低限のものを計画してきたので、本年度の削減は難しい。内容の見直しや手順の簡素化を図ることで、時間削減に取り組む。	部活動は勤務時間内に実施。金・土・日は休みであり、基本的に時間外業務はない。